

## 第2回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会議事録

日 時	平成30年3月26日(月) 午後2時から午後2時45分
場 所	柏原市役所別館3階 フローラルセンター会議室
出 席 者	<p>(柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員)</p> <p>石橋委員 (柏原市健康福祉部)</p> <p>石村委員 (パナソニックサイクルテック株式会社)</p> <p>市川委員 (柏原市政策推進部)</p> <p>大村委員 (市民)</p> <p>河村委員 (国立大学法人大阪教育大学)</p> <p>重森委員 (学校法人玉手山学園関西福祉科学大学)</p> <p>谷委員 (柏原市労働組合協議会)</p> <p>脇田委員 (柏原市市民部)</p> <p>渡辺委員 (株式会社りそな銀行柏原支店)</p> <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
欠 席 者	<p>斉藤委員 (大阪中河内農業協同組合)</p> <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
事 務 局	<p>山口 総合政策監</p> <p>瀬田 政策推進部次長兼企画調整課長</p> <p>山本 企画調整課参事兼課長補佐</p> <p>峯 企画調整課主査</p> <p>大井 柏原市商工会事務局長</p>
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版(案)について</p> <p>(2) 地方創生推進交付金事業の進捗状況等について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>

## 1. 開 会

	<p><b>【委員会成立報告】</b> 委員 8 名出席により、推進委員会規則第 5 条第 2 項の規定に基づいて、委員会が成立していることを報告。</p>
--	--

## 2. 議 題

委員長	<p><b>【開会挨拶】</b> 本日はご多忙の中、ご出席いただき感謝申し上げます。本日は、柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定箇所について説明した後、地方創生推進交付金事業の進捗状況等について、報告をさせていただきます。長時間の開催となるが、ご協力よろしくようお願い申し上げます。</p>
事務局	<p><b>【資料確認】</b> 会議次第 資料 1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版（案） 資料 2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定箇所一覧 資料 3 地方創生推進交付金事業の進捗状況等について 参考資料 転出・転入アンケート 参考資料 委員会名簿</p>
委員長  事務局	<p><b>【議事進行】</b> ・議題 1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版（案）について、説明をお願いします。</p> <p>（事務局 説明）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「資料 1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版（案）について」</li><li>・「資料 2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定箇所一覧」に基づき説明。</li></ul> <p>説明内容（概略）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・資料 1 は、本市の総合戦略の第 3 章を抜き出した資料で、資料 2 はその改訂箇所を一覧にしたもの。</li><li>・総合戦略の柱である基本方針や基本目標は改訂の対象とはしていません。</li><li>・第 3 章については、毎年効果検証をしていく中で必要に応じて見直すこととしており、昨年 7 月の第 1 回委員会で確認させていただいた結果や各委員からの意見、また事業担当課への調査により、改定案を作成したものです。</li><li>・変更点を説明する前に、総合戦略に掲げる基本目標や基本的方向、施策等について説明させていただきます。</li><li>・基本目標 1 「子育て環境ナンバーワンのまち かしわら」については、若い世代の結婚や出産また子育ての希望をかなえるまちを目指</li></ul>

	<p>すため、総合的な数値目標を、毎年実施している市民意識調査における「子育て支援の満足度」及び「教育指導の満足度」としており、結婚支援の充実や妊娠・出産支援の充実、子育て支援の充実等を図るための施策を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・基本目標 2「働きやすいまち かしわら」については、働く意欲のある人が身近な地域で働くことが出来る雇用環境を整えるために、全体的な数値目標を市内常住の 15 歳から 34 歳の「若者の市内雇用者数の割合」とし、企業等の地方拠点化や農業振興などの安定した雇用の創出に繋がるような施策を中心に設定している。</li><li>・基本目標 3「住んでみたいまち かしわら」については、若者の移住・定住や学生の地元就職率の向上と地元産業の事業拡大や企業の誘致を推進し、しごととひとの循環を図ることにより、地域の活力を向上し、住み続けたいと思えるまちづくりを目指している。その中で数値目標を市民意識調査で「住み続けたい」と答える人の割合を設定し、また、増加目標としての転入者数と減少目標としての転出者数を設定し、定住移住の推進等、市内への新しい人の流れをつくることに焦点を置いて施策を設定している。</li><li>・基本目標 4「暮らしやすいまち かしわら」については、住民のライフスタイルやライフステージに応じた環境作りを目指すため、数値目標を市民意識調査の「住みやすい」と答える人の割合と、健康づくりの満足度とし、利便性の確保や地域コミュニティの活性化など、地域で安心して暮らせるための施策を設定している。</li><li>・現時点で基本目標 1, 3, 4 の数値目標である子育て支援や教育指導の満足度等については、今年度実施しました市民意識調査の数値が昨年度よりもそれぞれ上昇した結果となり、また、基本目標 2 の数値目標についても、今年度の本市の統計書から算出した結果、市内雇用者数の割合が上昇した結果となっており、総合戦略に位置付けている各事業やそれ以外の事業の成果が徐々に出てきたものだと感じている。</li><li>・総じて大きな変更はないが、変更点について説明させていただく。 (変更点については、資料 1 及び資料 2 を参照。)</li></ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・前回の委員会での指摘事項等を踏まえ、目標値の修正や KPI の見直し等を今回の改訂版において変更していると思うが、今回改訂した箇所やそれ以外の部分について質問や意見等があれば何う。</li></ul> <p>(質問、意見等なし)</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・総合戦略を策定し、地方創生の取組を開始してから 3 年が経過しているが、現状として人口減少が進行しており、本市の人口もこの 2</li></ul>

事務局	<p>月から7万人をついに下回ってしまったところである。今後、人口減少に歯止めをかけるためにも、様々な課題を解決し、課題解決に向けた施策や事業を展開していくことが必要となると思いますが、事務局として今後どのように考えているか。</p> <p>(事務局 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参考資料 転出転入アンケート</li><li>・人口減少に歯止めをかけ、様々な課題を解決する事業を展開していく必要があると認識している。</li><li>・また、第1回委員会において、委員から市外への転出者の転出理由の分析を行うことで、転出抑制を図れるのではないかと意見をいただいたことから、転出転入者が多くなるこの3月中旬(3月12日)から本庁1階の市民課の窓口において、転出転入者を対象に参考資料でお渡しした、アンケート実施しているところ。</li><li>・このアンケートは、転入促進策及び転出抑制策を行うために、転入者及び転出者がどのような実態で移動しているかを、年齢、世帯状況、転入転出場所、転居理由、転居先を選ぶ理由等から分析するために行うもの。</li><li>・先週の金曜日23日時点の状況では、転入者34名に対し、転出者が68名となっており、転出超過となっている。主な転出理由としては、やはり仕事の都合がほぼ8割以上を占めており、その他結婚による都合が多くみられた。</li><li>・転出アンケートの問11で「将来、また柏原に住みたいと思いますか」という問いに対しては、68人中45人が「住みたいと思う」、13人が「住みたくない」、未回答が10人となっており、約7割の方がまた本市に戻ってきたいという意向があることがわかった。</li><li>・今後アンケートを実施し、これから分析をしていくことになるが、現状を把握し、今後の市政運営に役立てるとともに、転出に係る課題策を実施することにより、転出抑制等を図っていきたい。</li></ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・今の説明に対する意見やその他、今後、取組が必要と思われる部分や別の提案等何か意見等があれば伺う。</li></ul>
A委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・直近の柏原市の人口について伺う。</li></ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年2月末時点で、69,999人となっている。</li></ul>
A委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・その人口となった原因を分析しているのか。</li></ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会減による影響がやや少なくなってきたおり、自然減による影響が大きくなってきている。これまでは、転入転出による社会増減による影響が大きかったため、今回、転入転出者を対象としたアンケートを実施し、転出理由等を分析するものである。</li></ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・ほかに何か意見があれば何う。</li></ul> <p>(意見なし)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・それでは、改定案については、本日いただいた意見に基づいて手直しが必要な場合は、対応していくものとしてよろしいか。</li></ul> <p>(異議なし)</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・議題 2 地方創生推進交付金の進捗状況等について説明をお願いする。</li></ul>
事務局	<p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「資料 3 地方創生推進交付金の進捗状況等について」に基づき説明。</li></ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務局の説明に対して、意見又は質問等があれば何う。</li></ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・ママスクエアの利用者や事業者の声はどのようなものがあるか。</li></ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・他市を含めて 82 名の応募があった。その中で面接に進んだのは、55 名、最終的に 28 名が登録を行い、11 名からスタートを切るという形となった。</li><li>・実際の働いている母親の声は、保育所に預けてフルタイムで仕事をするのではなく、働いている場所のすぐ近くで子供の顔が見ることができる環境の中で短時間の仕事を出来ることが嬉しいという声を聞いている。</li><li>・事業者からは、柏原市でも多数の少しの時間でも働きたい母親が存在していることがわかり、需要があるということを実感したということを知っている。また今後は、市内の企業や学校等の連携しながら事業を進めていきたいとの意見も聞いている。</li></ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・地方創生推進交付金の事業において、推進委員会の立ち位置はどのように考えていけばいいのか。</li></ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・次回の推進委員会では、総合戦略に掲げる各事業の KPI の達成度と</li></ul>

C 委員	地方創生推進交付金事業の KPI の達成度についても確認していただき、それぞれの実績値などについて効果検証をお願いしたい。その中で、より推進していくべき事業や方向性を見直していくべき事業などについて、検討していただきたい。
事務局	・ 地方創生推進交付金事業は、先程、説明のあった 2 事業だけか。
委員長	・ 年に 2 回申請依頼があり、交付金の対象となり得る先駆的な事業があれば申請可能であるため、今後も事業を検討していく予定である。 ・ 補助率は対象事業の二分の一であり、最終的に行政がかかわることなく、事業実施主体が自走していける事業等が交付対象となる。
委員長	・ これで議題は終了となるが、全般的な事項や他に何か意見等を伺う。  (意見、質問等なし)
事務局	・ 最後に、今後の予定について、事務局から説明をお願いします。
委員長	・ 今後の予定については、本日いただいた意見等をもとに、総合戦略の内容等のチェックを行い、改訂版として公表させていただく。委員の皆さまには、メールにて送付させていただくので、よろしくお願い申しあげる。 ・ また、次年度のスケジュールについては、平成 30 年の 5 月下旬から 6 月前半に平成 30 年度の第 1 回委員会の開催し、平成 29 年度の各事業の実績について効果検証を行う予定である。
委員長	・ 他に何も意見がなければ、本日の会議を終了させていただく。 貴重な意見を頂戴し、感謝申し上げます。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。